

第3章 人権問題に関する学習経験

3-1. 人権問題に関する学習経験

(1) 人権問題に関する学習経験

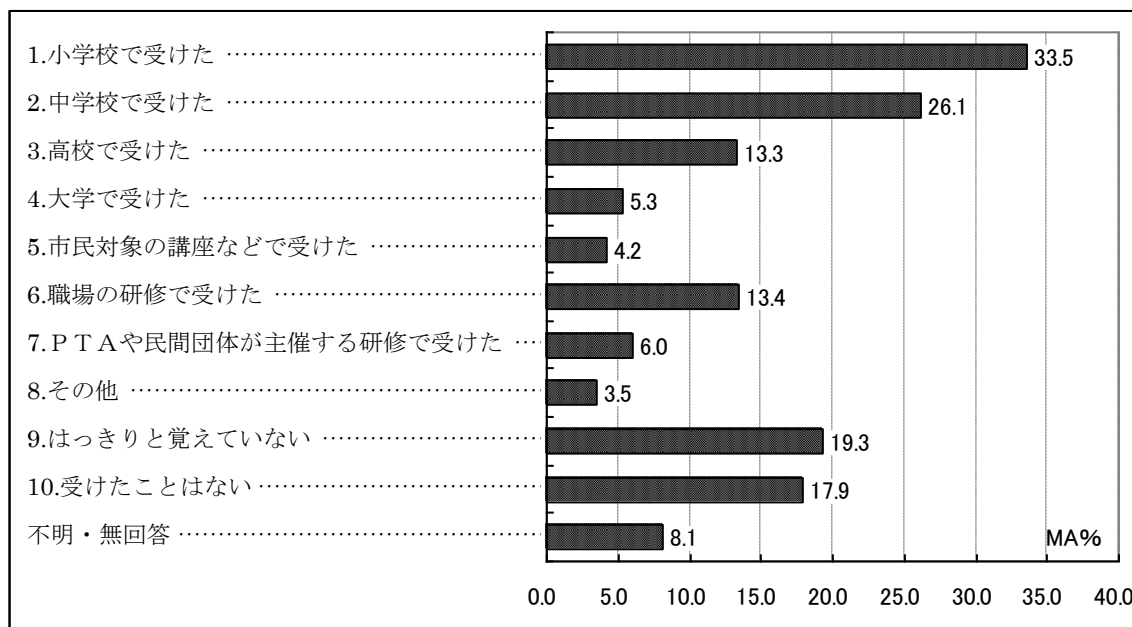
問12 あなたは、学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。
(〇はいくつでも)

【表3-1-1 人権問題に関する学習経験】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 小学校で 受けた	2. 中学校で 受けた	3. 高校で 受けた	4. 大学で 受けた	5. 市民 講座 などで 受けた	6. 職場 の 研修 で 受けた	7. PTA や 民間 団体 が 主催 する 研修 で 受けた	8. その他	9. は っ き り と 覚 え て い な い	10. 受 け た こ と は な い	無 回 答 ・ 不 明	回 答 者 数
市全体	240 33.5	187 26.1	95 13.3	38 5.3	30 4.2	96 13.4	43 6.0	25 3.5	138 19.3	128 17.9	58 8.1	716 100.0

【図3-1-1 人権問題に関する学習経験】



学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがあるか尋ねたところ、「小学校で受けた」と答えた人の割合が33.5%と最も高く、次いで「中学校で受けた」が26.1%、「はっきりと覚えていない」が19.3%となっている。

性別でみると、男性では「小学校で受けた」が34.9%と最も高く、次いで「中学校で受けた」が27.2%、「受けたことはない」が20.3%となっている。

女性では「小学校で受けた」が34.5%と最も高く、次いで「中学校で受けた」が26.5%、「はっ

きりと覚えていない」が 22.3%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「小学校で受けた」であり、数値は各々 63.4%、65.7%、58.7%、26.5%となっており、70 歳以上では「受けたことはない」で 34.8%、60 歳代では「はっきりと覚えていない」と「受けたことはない」でともに 31.3%となっている。

【表 3-1-2】

【表 3-1-2 性別・年齢別 人権問題に関する学習経験】

(上段:人、下段:%)

		1. 小学校で受けた	2. 中学校で受けた	3. 高校で受けた	4. 大学で受けた	5. 市民対象の講座などで受けた	6. 職場の研修で受けた	7. PTAや民間団体が主催する研修で受けた	8. その他	9. はっきりと覚えていない	10. 受けたことはない	無不明・回答	回答者数
市全体		240 33.5	187 26.1	95 13.3	38 5.3	30 4.2	96 13.4	43 6.0	25 3.5	138 19.3	128 17.9	58 8.1	716 100.0
性別	男性	105 34.9	82 27.2	31 10.3	20 6.6	12 4.0	48 15.9	10 3.3	14 4.7	50 16.6	61 20.3	20 6.6	301 100.0
	女性	133 34.5	102 26.5	63 16.4	18 4.7	15 3.9	42 10.9	32 8.3	11 2.9	86 22.3	61 15.8	29 7.5	385 100.0
	不明・無回答	2 6.7	3 10.0	1 3.3	0 0.0	3 10.0	6 20.0	1 3.3	0 0.0	2 6.7	6 20.0	9 30.0	30 100.0
年齢別	20歳代	45 63.4	39 54.9	19 26.8	14 19.7	0 0.0	7 9.9	1 1.4	1 1.4	17 23.9	1 1.4	2 2.8	71 100.0
	30歳代	90 65.7	57 41.6	21 15.3	8 5.8	2 1.5	24 17.5	0 0.0	5 3.6	22 16.1	8 5.8	3 2.2	137 100.0
	40歳代	61 58.7	45 43.3	21 20.2	10 9.6	2 1.9	17 16.3	9 8.7	4 3.8	12 11.5	11 10.6	3 2.9	104 100.0
	50歳代	27 26.5	24 23.5	14 13.7	4 3.9	5 4.9	14 13.7	15 14.7	4 3.9	21 20.6	12 11.8	10 9.8	102 100.0
	60歳代	9 6.7	8 6.0	10 7.5	1 0.7	4 3.0	17 12.7	9 6.7	7 5.2	42 31.3	42 31.3	4 3.0	134 100.0
	70歳以上	6 4.3	11 8.0	9 6.5	1 0.7	14 10.1	11 8.0	8 5.8	4 2.9	22 15.9	48 34.8	27 19.6	138 100.0
	不明・無回答	2 6.7	3 10.0	1 3.3	0 0.0	3 10.0	6 20.0	1 3.3	0 0.0	2 6.7	6 20.0	9 30.0	30 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」では「小学校で受けた」であり、数値は各々 26.7%、48.5%、43.4%となっており、「公務員、教員」では「職場の研修で受けた」で 60.0%、「家事専業・学生・無職」では「中学校で受けた」で 24.4%となっている。【表 3-1-3】

【表 3-1-3 職業別 人権問題に関する学習経験】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 小学校で 受けた	2. 中学校で 受けた	3. 高校で 受けた	4. 大学で 受けた	5.市民 対象の 講座 などで 受けた	6.職 場の 研修 で 受けた	7.主 催者 PTA や 民間 団 体 が 研 修 で 受 け た	8. そ の 他	9. 覚 え て い な い	10. 受 け た こ と は な い	無 回 答 ・ 不 明	回 答 者 数
市全体	240 33.5	187 26.1	95 13.3	38 5.3	30 4.2	96 13.4	43 6.0	25 3.5	138 19.3	128 17.9	58 8.1	716 100.0
自営業	24 26.7	11 12.2	12 13.3	2 2.2	4 4.4	6 6.7	6 6.7	3 3.3	16 17.8	20 22.2	7 7.8	90 100.0
公務員、教員	8 53.3	5 33.3	3 20.0	3 20.0	0 0.0	9 60.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	15 100.0
民間正規雇用	96 48.5	72 36.4	29 14.6	18 9.1	6 3.0	33 16.7	10 5.1	7 3.5	38 19.2	22 11.1	5 2.5	198 100.0
非正規雇用	43 43.4	29 29.3	11 11.1	4 4.0	4 4.0	15 15.2	9 9.1	4 4.0	22 22.2	12 12.1	6 6.1	99 100.0
家事専業・ 学生・無職	67 24.0	68 24.4	39 14.0	11 3.9	14 5.0	26 9.3	16 5.7	11 3.9	58 20.8	65 23.3	26 9.3	279 100.0
不明・無回答	2 5.7	2 5.7	1 2.9	0 0.0	2 5.7	7 20.0	1 2.9	0 0.0	3 8.6	7 20.0	13 37.2	35 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「受けたことはない」で 31.5% となっており、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では「小学校で受けた」であり、数値は各々 29.0%、51.0%、52.4%となっている。【表 3-1-4】

【表 3-1-4 学歴別 人権問題に関する学習経験】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 小学校で 受けた	2. 中学校で 受けた	3. 高校で 受けた	4. 大学で 受けた	5.市 民 対 象 の 講 座 な ど で 受 け た	6.職 場 の 研 修 で 受 け た	7.主 催者 PTA や 民間 団 体 が 研 修 で 受 け た	8. そ の 他	9. 覚 え て い な い	10. 受 け た こ と は な い	無 回 答 ・ 不 明	回 答 者 数
市全体	240 33.5	187 26.1	95 13.3	38 5.3	30 4.2	96 13.4	43 6.0	25 3.5	138 19.3	128 17.9	58 8.1	716 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	4 3.7	11 10.2	1 0.9	0 0.0	5 4.6	7 6.5	3 2.8	4 3.7	25 23.1	34 31.5	22 20.4	108 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	80 29.0	60 21.7	34 12.3	3 1.1	9 3.3	27 9.8	20 7.2	9 3.3	66 23.9	56 20.3	13 4.7	276 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	76 51.0	54 36.2	25 16.8	6 4.0	8 5.4	23 15.4	14 9.4	9 6.0	28 18.8	10 6.7	7 4.7	149 100.0
4.大学、大学院	76 52.4	59 40.7	34 23.4	29 20.0	6 4.1	32 22.1	5 3.4	3 2.1	16 11.0	19 13.1	4 2.8	145 100.0
5.その他	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 33.3	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	3 8.6	3 8.6	1 2.9	0 0.0	2 5.7	6 17.1	1 2.9	0 0.0	3 8.6	8 22.9	12 34.3	35 100.0

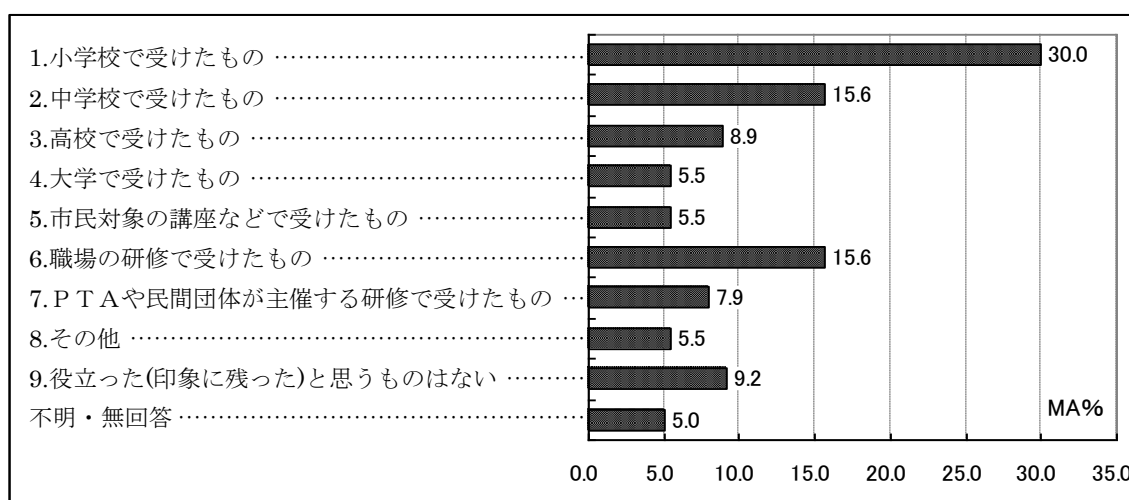
(2) 人権意識を高めるうえでとくに役立った(いちばん印象に残っている)学習

(問 12 で「学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがある」と答えた人に)
問 12-1 その中で、あなたの人権意識を高めるうえでとくに役に立った(いちばん印象に残っている)ものはどれですか。(〇は1つ)

【表 3-1-5 人権意識を高めるうえでとくに役立った学習】

(上段:人、下段:MA%)											
	1. 小学校で受けたもの	2. 中学校で受けたもの	3. 高校で受けたもの	4. 大学で受けたもの	5. 市民対象の講座などで受けたもの	6. 職場の研修で受けたもの	7. P T A や民間団体が主催する研修で受けたもの	8. その他	9. 役立った(印象に残った)と思うものはない	不明・無回答	該当者数
市全体	121 30.0	63 15.6	36 8.9	22 5.5	22 5.5	63 15.6	32 7.9	22 5.5	37 9.2	20 5.0	403 100.0

【図 3-1-2 人権意識を高めるうえでとくに役立った学習】



※単一回答の設問であるが、複数回答が多数あったため、すべて有効とした。

※問 12 が無回答のため「不明・無回答」とした場合でも、問 12-1 に回答があった場合は有効とした。

学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがあると答えた人に、人権意識を高めるうえでとくに役に立った(いちばん印象に残っている)ものについて尋ねたところ、「小学校で受けたもの」と答えた人の割合が 30.0%と最も高く、次いで「中学校で受けたもの」と「職場の研修で受けたもの」が、ともに 15.6%となっている。

性別でみると、男性では「小学校で受けたもの」が 33.0%と最も高く、次いで「中学校で受けたもの」が 16.5%、「職場の研修で受けたもの」が 15.3%となっている。

女性では「小学校で受けたもの」が 29.1%と最も高く、次いで「中学校で受けたもの」が 15.5%、

「職場の研修で受けたもの」が 14.6%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「小学校で受けたもの」であり、数値は各々35.3%、47.1%、44.9%、20.0%となっており、60 歳代では「職場の研修で受けたもの」で 23.4%、70 歳以上では「市民対象の講座などで受けたもの」で 24.5%となっている。

【表 3-1-6】

【表 3-1-6 性別・年齢別 人権意識を高めるうえでとくに役立った学習】

(上段:人、下段:%)

		1. 小学校で受けたもの	2. 中学校で受けたもの	3. 高校で受けたもの	4. 大学で受けたもの	5. 市民対象の講座など	6. 職場の研修で受けたもの	7. PTAや民間団体が主催する研修で受けたもの	8. その他	9. 役立った印象に残ったもの(と思うものはない)	無不明・不回答	該当者数
市全体		121 30.0	63 15.6	36 8.9	22 5.5	22 5.5	63 15.6	32 7.9	22 5.5	37 9.2	20 5.0	403 100.0
性別	男性	58 33.0	29 16.5	14 8.0	12 6.8	9 5.1	27 15.3	8 4.5	12 6.8	17 9.7	7 4.0	176 100.0
	女性	62 29.1	33 15.5	21 9.9	10 4.7	11 5.2	31 14.6	23 10.8	10 4.7	18 8.5	12 5.6	213 100.0
	不明・無回答	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	2 14.3	5 35.7	1 7.1	0 0.0	2 14.3	1 7.1	14 100.0
年齢別	20歳代	18 35.3	8 15.7	6 11.8	10 19.6	0 0.0	5 9.8	0 0.0	0 0.0	9 17.6	0 0.0	51 100.0
	30歳代	49 47.1	19 18.3	5 4.8	4 3.8	0 0.0	15 14.4	0 0.0	4 3.8	11 10.6	5 4.8	104 100.0
	40歳代	35 44.9	15 19.2	6 7.7	5 6.4	1 1.3	8 10.3	6 7.7	4 5.1	4 5.1	3 3.8	78 100.0
	50歳代	12 20.0	8 13.3	7 11.7	1 1.7	5 8.3	10 16.7	11 18.3	3 5.0	3 5.0	2 3.3	60 100.0
	60歳代	5 10.6	7 14.9	8 17.0	1 2.1	2 4.3	11 23.4	7 14.9	6 12.8	5 10.6	2 4.3	47 100.0
	70歳以上	1 2.0	5 10.2	3 6.1	1 2.0	12 24.5	9 18.4	7 14.3	5 10.2	3 6.1	7 14.3	49 100.0
	不明・無回答	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	2 14.3	5 35.7	1 7.1	0 0.0	2 14.3	1 7.1	14 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」、「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業・学生・無職」では「小学校で受けたもの」であり、数値は各々28.6%、39.0%、33.3%、23.9%となっており、「公務員、教員」では「職場の研修で受けたもの」で 72.7%となっている。

【表 3-1-7】

【表３－１－７ 職業別 人権意識を高めるうえでとくに役立った学習】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 小学校で受けたもの	2. 中学校で受けたもの	3. 高校で受けたもの	4. 大学で受けたもの	5. 市民対象の講座 などで受けたもの	6. 職場の 研修で受けたもの	7. PTAや民間団体が 主催する 研修で受けたもの	8. その他	9. 役立った （印象に残った） と思うものはないと	無不明 回答・	該 当者 数
市全体	121 30.0	63 15.6	36 8.9	22 5.5	22 5.5	63 15.6	32 7.9	22 5.5	37 9.2	20 5.0	403 100.0
自営業	14 28.6	6 12.2	9 18.4	1 2.0	4 8.2	3 6.1	5 10.2	3 6.1	3 6.1	6 12.2	49 100.0
公務員、教員	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	8 72.7	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	11 100.0
民間正規雇用	53 39.0	21 15.4	7 5.1	11 8.1	6 4.4	18 13.2	8 5.9	7 5.1	10 7.4	5 3.7	136 100.0
非正規雇用	20 33.3	11 18.3	3 5.0	3 5.0	3 5.0	7 11.7	7 11.7	2 3.3	6 10.0	3 5.0	60 100.0
家事専業・ 学生・無職	32 23.9	23 17.2	15 11.2	7 5.2	8 6.0	21 15.7	11 8.2	10 7.5	16 11.9	5 3.7	134 100.0
不明・無回答	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	1 7.7	6 46.2	1 7.7	0 0.0	1 7.7	1 7.7	13 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「中学校で受けたもの」で18.8%となっており、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では「小学校で受けた」であり、数値は各々29.6%、36.2%、34.6%となっている。【表３－１－８】

【表３－１－８ 学歴別 人権意識を高めるうえでとくに役立った学習】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 小学校で受けたもの	2. 中学校で受けたもの	3. 高校で受けたもの	4. 大学で受けたもの	5. 市民対象の講座 などで受けたもの	6. 職場の 研修で受けたもの	7. PTAや民間団体が 主催する 研修で受けたもの	8. その他	9. 役立った （印象に残った） と思うものはないと	無不明 回答・	該 当者 数
市全体	121 30.0	63 15.6	36 8.9	22 5.5	22 5.5	63 15.6	32 7.9	22 5.5	37 9.2	20 5.0	403 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 6.3	6 18.8	1 3.1	0 0.0	5 15.6	4 12.5	3 9.4	5 15.6	4 12.5	4 12.5	32 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	42 29.6	25 17.6	15 10.6	2 1.4	8 5.6	19 13.4	16 11.3	6 4.2	14 9.9	5 3.5	142 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	38 36.2	17 16.2	10 9.5	3 2.9	3 2.9	16 15.2	7 6.7	8 7.6	7 6.7	5 4.8	105 100.0
4.大学、大学院	37 34.6	13 12.1	9 8.4	17 15.9	5 4.7	18 16.8	5 4.7	3 2.8	11 10.3	3 2.8	107 100.0
5.その他	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
不明・無回答	1 6.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0	1 6.7	5 33.3	1 6.7	0 0.0	1 6.7	3 20.0	15 100.0

（３）人権意識を高めるうえで役立った（いちばん印象に残っている）学習分野

（問 12－１で「人権意識を高めるうえでとくに役に立った（いちばん印象に残っている）ものがあると答えた人に）

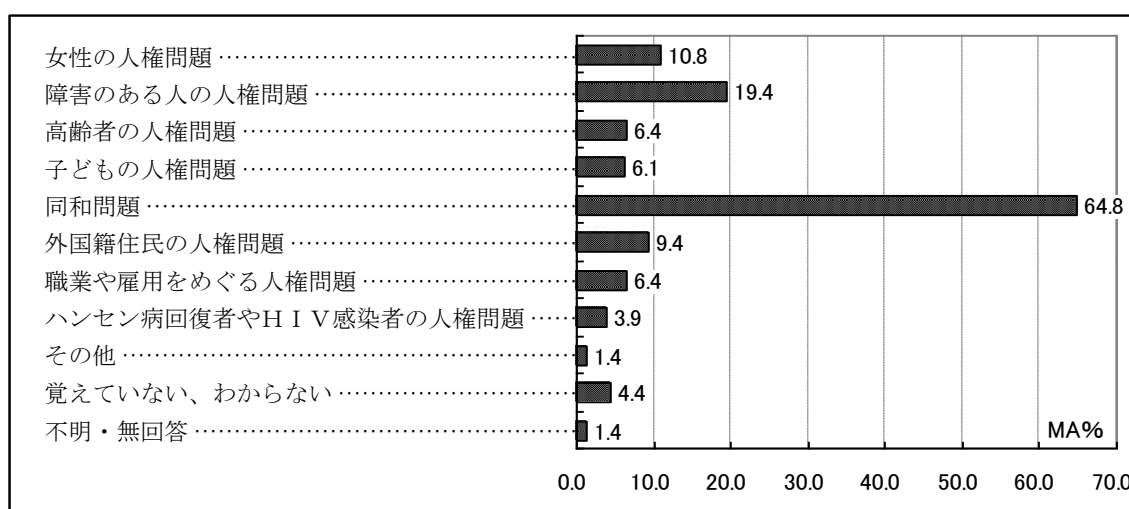
問 12－２ それは、どのような分野でしたか。また、どのような形式でしたか。（○はそれぞれ１つ）【分野】

【表 3－1－9 人権意識を高めるうえで役立った学習分野】

(上段：人、下段：MA%)

	女性の人権問題	障害のある人の人権問題	高齢者の人権問題	子どもの人権問題	同和問題	外国籍住民の人権問題	職業や雇用をめぐる人権問題	H I V感染者の人権問題	ハンセン病回復者や	その他	覚えていない、わからない	不明・無回答	該当者数
市全体	39 10.8	70 19.4	23 6.4	22 6.1	234 64.8	34 9.4	23 6.4	14 3.9	5 1.4	16 4.4	5 1.4	361 100.0	

【図 3－1－3 人権意識を高めるうえで役立った学習分野】



※単一回答の設問であるが、複数回答が多数あったため、すべて有効とした。

※問 12 もしくは問 12－１が無回答のため「不明」とした場合でも、問 12－２に回答があった場合は有効とした。

学校、職場及び地域で、人権意識を高めるうえでとくに役に立った（いちばん印象に残っている）ものがあると答えた人に、どのような分野であったかについて尋ねたところ、「同和問題」と答えた人の割合が 64.8%と最も高く、次いで「障害のある人の人権問題」が 19.4%、「女性の人権問題」が 10.8%となっている。

性別でみると、男性では「同和問題」が 68.6%と最も高く、次いで「障害のある人の人権問題」が 18.2%、「女性の人権問題」が 9.4%となっている。

女性では「同和問題」が 63.7%と最も高く、次いで「障害のある人の人権問題」が 18.9%、「女性の人権問題」が 11.1%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての年齢層で「同和問題」であり、20 歳代が 54.8%、30 歳代が 75.0%、40 歳代が 78.9%、50 歳代が 71.4%、60 歳代が 59.5%、70 歳以上が 37.0%となっている。

【表 3-1-10】

【表 3-1-10 性別・年齢別 人権意識を高めるうえで役立った学習分野】

		(上段:人、下段:%)											
		女性の人権問題	障害のある人の人権問題	高齢者の人権問題	子どもの人権問題	同和問題	外国籍住民の人権問題	職業や雇用をめぐる人権問題	HIV感染者の人権問題	ハンセン病回復者やその他	覚えていない、わからない	不明・無回答	該当者数
市全体		39 10.8	70 19.4	23 6.4	22 6.1	234 64.8	34 9.4	23 6.4	14 3.9	5 1.4	16 4.4	5 1.4	361 100.0
性別	男性	15 9.4	29 18.2	12 7.5	12 7.5	109 68.6	14 8.8	11 6.9	5 3.1	2 1.3	5 3.1	4 2.5	159 100.0
	女性	21 11.1	36 18.9	9 4.7	10 5.3	121 63.7	18 9.5	11 5.8	9 4.7	1 0.5	11 5.8	1 0.5	190 100.0
	不明・無回答	3 25.0	5 41.7	2 16.7	0 0.0	4 33.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	12 100.0
年齢別	20歳代	6 14.3	10 23.8	2 4.8	3 7.1	23 54.8	5 11.9	5 11.9	2 4.8	0 0.0	3 7.1	0 0.0	42 100.0
	30歳代	9 9.8	20 21.7	1 1.1	6 6.5	69 75.0	13 14.1	4 4.3	5 5.4	1 1.1	1 1.1	0 0.0	92 100.0
	40歳代	3 4.2	9 12.7	2 2.8	3 4.2	56 78.9	6 8.5	2 2.8	1 1.4	0 0.0	2 2.8	0 0.0	71 100.0
	50歳代	4 7.1	11 19.6	2 3.6	3 5.4	40 71.4	3 5.4	2 3.6	1 1.8	0 0.0	4 7.1	1 1.8	56 100.0
	60歳代	7 16.7	8 19.0	4 9.5	3 7.1	25 59.5	5 11.9	7 16.7	1 2.4	1 2.4	2 4.8	2 4.8	42 100.0
	70歳以上	7 15.2	7 15.2	10 21.7	4 8.7	17 37.0	0 0.0	2 4.3	4 8.7	1 2.2	4 8.7	2 4.3	46 100.0
	不明・無回答	3 25.0	5 41.7	2 16.7	0 0.0	4 33.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	12 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべてで「同和問題」であり、「自営業」が 71.1%、「公務員、教員」が 60.0%、「民間正規雇用」が 68.8%、「非正規雇用」が 66.0%、「家事専業・学生・無職」が 61.2%となっている。【表 3-1-11】

【表３－１－１１ 職業別 人権意識を高めるうえで役立った学習分野】

(上段:人、下段:MA%)

	女性の人権問題	障害のある人の人権問題	高齢者の人権問題	子どもの人権問題	同和問題	外国籍住民の人権問題	職業や雇用をめぐ る人権問題	HIV感染者の人権問題	ハンセン病回復者や	その他	覚えていない、 わからない	不明・ 無回答	該当者数
市全体	39 10.8	70 19.4	23 6.4	22 6.1	234 64.8	34 9.4	23 6.4	14 3.9	5 1.4	16 4.4	5 1.4	361 100.0	
自営業	4 8.9	5 11.1	1 2.2	3 6.7	32 71.1	4 8.9	2 4.4	1 2.2	1 2.2	3 6.7	0 0.0	45 100.0	
公務員、教員	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 100.0	
民間正規雇用	8 6.4	21 16.8	5 4.0	6 4.8	86 68.8	8 6.4	5 4.0	4 3.2	1 0.8	5 4.0	1 0.8	125 100.0	
非正規雇用	8 15.1	15 28.3	3 5.7	2 3.8	35 66.0	5 9.4	6 11.3	1 1.9	0 0.0	2 3.8	2 3.8	53 100.0	
家事専業・ 学生・無職	14 12.1	24 20.7	12 10.3	10 8.6	71 61.2	12 10.3	8 6.9	7 6.0	1 0.9	6 5.2	2 1.7	116 100.0	
不明・無回答	4 33.3	4 33.3	2 16.7	0 0.0	4 33.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	12 100.0	

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「同和問題」であり、「中学卒」が35.7%、「高校卒」が68.8%、「短大卒」が72.9%、「大学卒」が65.6%となっている。

【表３－１－１２】

【表３－１－１２ 学歴別 人権意識を高めるうえで役立った学習分野】

(上段:人、下段:MA%)

	女性 の人権問題	障害 のある人 の人権問題	高齢者 の人権問題	子ども の人権問題	同和 問題	外国 籍住民 の人権 問題	職業や 雇用を めぐる 人権問題	人権 問題 HIV 感染者 の回復 者や	その他	覚えて いない 、 わから ない	不明・ 無回答	該当者 数
市全体	39 10.8	70 19.4	23 6.4	22 6.1	234 64.8	34 9.4	23 6.4	14 3.9	5 1.4	16 4.4	5 1.4	361 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	2 7.1	5 17.9	5 17.9	2 7.1	10 35.7	1 3.6	3 10.7	2 7.1	1 3.6	3 10.7	1 3.6	28 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	12 9.6	27 21.6	9 7.2	7 5.6	86 68.8	12 9.6	6 4.8	3 2.4	0 0.0	10 8.0	1 0.8	125 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	7 7.3	16 16.7	3 3.1	9 9.4	70 72.9	7 7.3	5 5.2	8 8.3	1 1.0	0 0.0	1 1.0	96 100.0
4.大学、大学院	15 15.6	17 17.7	3 3.1	4 4.2	63 65.6	12 12.5	7 7.3	1 1.0	1 1.0	2 2.1	2 2.1	96 100.0
5.その他	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
不明・無回答	3 21.4	5 35.7	2 14.3	0 0.0	5 35.7	2 14.3	1 7.1	0 0.0	2 14.3	1 7.1	0 0.0	14 100.0

(4) 人権意識を高めるうえで役立った(いちばん印象に残っている)学習形式

(問 12-1 で「人権意識を高めるうえでとくに役に立った(いちばん印象に残っている)ものがあると答えた人に)

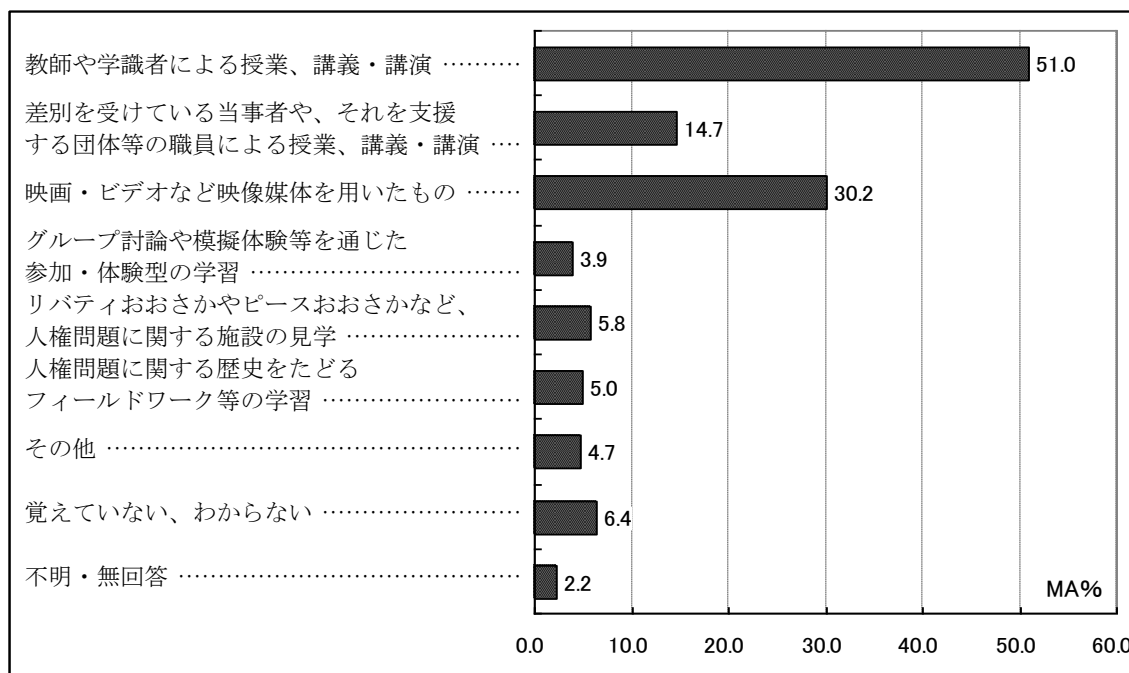
問 12-2 それは、どのような分野でしたか。また、どのような形式でしたか。(○はそれぞれ1つ)【形式】

【表 3-1-13 人権意識を高めるうえで役立った学習形式】

(上段:人、下段:MA%)

	教師や学識者による授業、講義・講演	差別を受けている当事者や、それを支援する団体等の職員による授業、講義・講演	映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの	参加・体験型の学習	グループ討論や模擬体験等を通じた学習	人権問題に関する施設の見学	リバティおおさかやピースおおさかなど、人権問題に関する施設の見学	歴史をたどるフィールドワーク等の学習	人権問題に関する	その他	覚えていない、わからない	不明・無回答	該当者数
市全体	184 51.0	53 14.7	109 30.2	14 3.9	21 5.8	18 5.0	17 4.7	23 6.4	8 2.2	361 100.0			

【図 3-1-4 人権意識を高めるうえで役立った学習形式】



※単一回答の設問であるが、複数回答が多数あったため、すべて有効とした。

※問 12 もしくは問 12-1 が無回答のため「不明」とした場合でも、問 12-2 に回答があった場合は有効とした。

45.3%、50.9%となっており、「公務員、教員」では「映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの」で40.0%となっている。【表3-1-15】

【表3-1-15 職業別 人権意識を高めるうえで役立った学習形式】

(上段:人、下段:MA%)

	授業、講義・講演	教師や学識者による	職員による授業、講義・講演	差別を受けている当事者や、それを支援する団体等の	映像・ビデオなど映像媒体を用いたもの	模範体験等を通じた参加・体験型の学習	グループ討論や模擬体験等を通じた参加・体験型の学習	人権問題に関する施設の見学	ビデオやおおさかなや、人権問題に関する施設の見学	歴史をたどる	人権問題に関する	その他	覚えていない、わからない	不明・無回答	該当者数
市全体	184 51.0	53 14.7	109 30.2	14 3.9	21 5.8	18 5.0	17 4.7	23 6.4	8 2.2	361 100.0					
自営業	22 48.9	2 4.4	17 37.8	2 4.4	3 6.7	4 8.9	1 2.2	4 8.9	0 0.0	45 100.0					
公務員、教員	2 20.0	3 30.0	4 40.0	0 0.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 100.0					
民間正規雇用	69 55.2	17 13.6	34 27.2	3 2.4	5 4.0	4 3.2	8 6.4	5 4.0	3 2.4	125 100.0					
非正規雇用	24 45.3	9 17.0	17 32.1	1 1.9	3 5.7	2 3.8	2 3.8	3 5.7	1 1.9	53 100.0					
家事専業・学生・無職	59 50.9	20 17.2	33 28.4	7 6.0	6 5.2	5 4.3	5 4.3	11 9.5	4 3.4	116 100.0					
不明・無回答	8 66.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	12 100.0					

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの」で35.7%となっており、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では「教師や学識者による授業、講義・講演」であり、数値は各々53.6%、53.1%、53.1%となっている。

【表3-1-16】

【表3-1-16 学歴別 人権意識を高めるうえで役立った学習形式】

(上段:人、下段:MA%)

	授業、講義・講演	教師や学識者による	職員による授業、講義・講演	差別を受けている当事者や、それを支援する団体等	映像・ビデオなど 映像媒体を用いたもの	模範・体験型の学習	グループ討論や 人権問題に関する施設の見学	ビデオやおさかなや、 人権問題に関する施設の見学	リパティオやおさかなや、 人権問題に関する施設の見学	歴史をたどる フィールドワーク等の学習	人権問題に関する	その他	覚えていない、わからない	不明・ 無回答	該当者数
市全体	184 51.0	53 14.7	109 30.2	14 3.9	21 5.8	18 5.0	17 4.7	23 6.4	8 2.2	361 100.0					
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	7 25.0	2 7.1	10 35.7	1 3.6	1 3.6	3 10.7	2 7.1	5 17.9	1 3.6	28 100.0					
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	67 53.6	12 9.6	38 30.4	5 4.0	6 4.8	5 4.0	5 4.0	10 8.0	3 2.4	125 100.0					
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	51 53.1	15 15.6	30 31.3	4 4.2	7 7.3	5 5.2	4 4.2	4 4.2	2 2.1	96 100.0					
4.大学、大学院	51 53.1	22 22.9	26 27.1	3 3.1	5 5.2	5 5.2	5 5.2	2 2.1	1 1.0	96 100.0					
5.その他	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0					
不明・無回答	7 50.0	2 14.3	5 35.7	1 7.1	2 14.3	0 0.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0	14 100.0					